

HugNet

この地球ではいつもどこかで朝が始まっている

昨年度HugNetの様子

集合・開講

みんなで顔合わせをします。最初は緊張気味ですが、段々と和気あいあい、仲良くなっていきます。



事前学習会

担当の国を決めたり、○×クイズをしながら、理解を深めます。



食を学ぶ

交流予定国の食文化を、実際に試食することにより、学習しました。



銚子講座



ゲストを迎えて、銚子だけでなく、日本の食文化、醤油について学びました。

インターネット

ネットワークはコミュニケーションを助ける物。インターネットについて学習しました。



HugNet!!!!

いざ、本番HugNet!!
下の写真のようにネットを通して、たくさんの国々の人と交流をし、異文化学習!



HugNet

HugNetとは...

児童期における驚きや感動を伴う異文化体験は、自己を見つめ、知的好奇心を高める良質の刺激となります。HugNetを通じ、地球の一員であることを実感、ネットワークの広がりを楽しさを体験しながら、自己肯定感を支えに、他人への思いやり、広く世界と関わりを持とうとする意欲を持つ人材育成を目指した、BeCOMオリジナルのコミュニケーション能力育成プログラムです。

HugNet事業内容

日本で最も早く初日の出を迎える町、銚子市から世界へ発信していくコミュニケーション事業です。谷川俊太郎氏の『朝のリレー』のワンフレーズ「この地球ではいつもどこかで朝が始まっている」をイメージコンセプトとしたオンライン国際交流プログラムです。HugNet実施前に、インターネットのマナー、英会話、交流国調査を行い、コミュニケーション能力を向上させます。そして、HugNet当日は、事前に依頼、設定した世界各地五カ国に暮らす方々の現地時間午前10時に、

インターネットを通して、お互いの顔を向かい合わせながらコミュニケーションを図ります。



エジプトで暮らしている方と交流する参加者

HugNetの必要性

昨今、日本の若年層のインターネットの退廃的使用、コミュニケーション能力及び倫理観の低下が顕著になってきています。他方で、世界は凄まじいスピードでグローバル化へと向かっています。この矛盾した現状を打破するために、コミュニケーション能力、国際理解意識、また、インターネットの有効活用を同時に経験し、身につけさせることで、新しい時代に求められる力、英会話運用力、ICTと呼ばれる情報コミュニケーション技術の実践的活用を養うことをHugNetの目的としてい

ます。その結果、情報・語学教育の促進のみならず、地域コミュニティの様な世代間交流も再生することができます。また、銚子という日本の突端で実施することにより、地域の独自性をふまえた創造的な事業展開をすることができ、地域からの情報発信力の強化、学生が能動的に参画できる魅力的な地域活動の促進も目的としています。

HugNetの日程

事前学習：平成19年9月2日(日)、30日(日)

交流日：平成19年10月13日(土)～14日(日)
一泊二日

<場所>

事前学習：市民センター

勤労コミュニティセンター

交流日：銚子市立飯沼小学校 体育館

<対象及び費用>

参加対象：市内小学5,6年生希望者 約30名

参加費：3,000円

(事前学習費、交流日諸経費、保険料)

<スタッフ最低必要人数>

学生リーダー 12名

(参加小学生ケア・グループリーダー)

24時間ネットラジオ班 15名

ボランティアスタッフ 約20名